

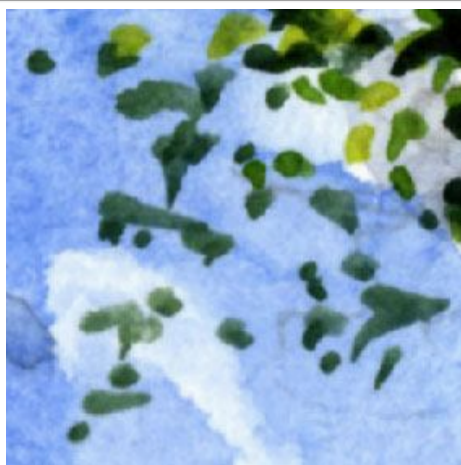
時代の浅い火山地形の浅間高原には 湖はほとんどなく あるのはすべて人造湖です ここ「浅間ハイランドパーク」の入口にある湖水も
観光用の人造湖です 私が子どもの頃からずっとあって ボートに乗ったのを覚えています それでも北麓で浅間の見える湖水は珍しく
湖畔に白樺の樹もあるので 絵を描くポイントとしては貴重な存在です



これが完成した絵です



1、白樺の葉は「リーフ・グリーン」「サップ・グリーン」「シャドウ・グリーン」の順に重ねます



2、梢の葉は 枝を描かずに葉だけが浮いているような感じで描きます



3、白樺の樹皮は 何度描いても「研究課題」として残っています パステル(白)とブラックの「せめぎ合い」です



4、浅間の山肌は「青+紫」の「アサマ・ブルー」で 3回塗り重ねて 立体感を出しています



5、対岸の木々の反映は 思いきり濃くしたほうが効果的です



6、白樺の反映は 白のペーストを木と線対称に塗って 指先で下にぼかして表現します